第 28 回 支部総会資料

※ 第 28 回支部総会はご案内のとおり新型コロナウイルスの感染および拡大防止の観点から中止と致しました。
第 28 回支部総会で報告予定であった資料を近畿支部ホームページに掲載します。

公益社団法人日本コンクリート工学会 近畿支部

目 次

1. 2019 年度 事業報告および収支決算について …… 2

2. 2020 年度 事業計画および収支予算について …… 9

3. 支部執行部の体制について …… 12

4. 業務委託契約更新について …… 14

5. 2019 年度表彰について …… 18

6. 会員数の推移について …… 19

7. 本部からの報告について …… 20

1. 2019 年度 事業報告および収支決算について

事　業　報　告

（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）

2019 年度は、支部に設置している各委員会（総務、広報行事、調査研究）がさらなる活性化に向けた自主的な活動を積極的に推進するとともに、支部会員の増員および支部設立 25 周年記念行事を円滑に進めるために支部幹事を 5 名から 10 名に、支部執行委員を 35 名から 39 名に増員した。また、支部設立 25 周年記念イベントの開催に向けて実行委員会を設置し、12 月に盛大にイベントを開催した。

(1) 執行委員会

1) 第 1 回

開 催 日：2019 年 5 月 21 日（火）

場　　所：大阪科学技術センター 605 会議室

出 席 者：33 名

主な内容：第 27 回総会資料、各委員会の推進体制 他

2) 第 2 回

開 催 日：2019 年 7 月 3 日（水）

場　　所：チサンマンション第 7 新大阪 1 階会議室

出 席 者：39 名

主な内容：支部委員会運営内規の改正、支部設立 25 周年記念行事 他

3) 第 3 回

開 催 日：2019 年 11 月 18 日（月）

場　　所：チサンマンション第 7 新大阪 1 階会議室

出 席 者：37 名

主な内容：支部執行部改選の進め方、支部設立 30 周年記念行事の提案 他

4) 第 4 回

開 催 日：2020 年 2 月 20 日（木）

場　　所：チサンマンション第 7 新大阪 1 階会議室

出 席 者：32 名

主な内容：2019 年度事業報告および収支実績、2020 年度事業計画および収支予算 他

(2) 支部総会

開 催 日：2019 年 5 月 21 日（火）

場　　所：大阪科学技術センター 8 階中ホール

出席会員：72 名

(3) 講演会およびセミナー

1) 特別座談会

開 催 日：2019 年 5 月 21 日（火）

場　　所：大阪科学技術センター 8 階中ホール

内　　容：「コンクリート技術の未来を JCI 会長と語ろう」

パネラー：芳村学氏（JCI 会長）、森川英典氏（JCI 近畿支部長）

参 加 者：78 名

2) 特別講演会

開 催 日：2019 年 5 月 21 日（火）

場　　所：大阪科学技術センター 8 階中ホール

講演題目：「道路インフラのメンテナンスサイクル構築の取組と課題」

講 演 者：河合良治氏（国土交通省近畿地方整備局）

参 加 者：86 名

3) 学生対象体験セミナー（支部設立 25 周年記念事業）

開 催 日：2019 年 8 月 27 日（火）

場　　所：関西宇部吹田工場

内　　容：高流動コンクリートの練混ぜ体験

参 加 者：14 名（高校 1 名、高専 5 名、大学 4 名、大学院 2 名、引率教員 2 名）

(4) 見学会等

1) 会員対象現場見学会

開 催 日：2019 年 7 月 29 日（月）

場　　所：京都市本庁舎免震改修工事現場

参 加 者：25 名

2) 一般市民（親子）対象現場見学会

開 催 日：2019 年 11 月 4 日（月）

場　　所：天ヶ瀬ダム再開発事業工事現場

参 加 者：20 名（一般：16 名）

(5) イベント

1) 支部設立 25 周年記念イベント　～知って、笑って、描きたい。コンクリートとその先に～

開 催 日：2019 年 12 月 21 日（土）

場　　所：大阪科学技術センター 8 階大ホール

特別講演：「阪神淡路大震災から 25 年目を迎えて（土木構造物）」幸左賢二氏（九州工業大学名誉教授・阪神高速道路技術センター技術顧問）

「阪神淡路大震災から 25 年目を迎えて（建築構造物）」渡邉史夫氏（京都大学名誉教授・竹中工務店技術顧問）

「関西の現状と今後の展望～コンクリートに期待して～」井上智夫氏（国土交通省近畿地方整備局長）

座 談 会：「25 年を振り返り、未来に向けて」コーディネーター：大谷恭弘氏（神戸大学大学院）、パネリスト：兼光知己氏（清水建設）、栗延正成氏（大阪広域生コンクリート協同組合）、清水俊彦氏（神戸高等専門学校）、野村泰稔氏（立命館大学）、室田敬氏（三井住友建設）

創作落語：「コンクリート物語」笑福亭純瓶氏

参 加 者：218 名（うち会員外 83 名）

(6) 研究専門委員会等

1) 銅スラグ細骨材の土木用コンクリートへの適用に関する研究専門委員会（2015 年度公募）

委 員 長：鶴田浩章（関西大学）

活動期間：2016～2018年度の3年間（2018年度は延長期間）

委 員 数：19名

2) コンクリート試験の省力化に関する検討委員会（2018年度公募）

委 員 長：武田字浦（明石工業高等専門学校）

活動期間：2019、2020年度の2年間（予定）

委 員 数：22名

幹 事 会：2019年6月17日　5名出席
2019年8月23日　5名出席

委 員 会：2019年4月22日　21名出席
2019年7月23日　19名出席
2019年9月27日　15名出席
2019年12月9日　17名出席

3) 高流動性コンクリートの実用化促進に関する研究委員会（2018年度公募）

委 員 長：中川隆夫（大阪兵庫生コンクリート工業組合）

活動期間：2019、2020年度の2年間（予定）

委 員 数：27名

委 員 会：2019年7月 3日　21名出席
2019年7月23日　24名出席
2019年10月2日　26名出席
2019年12月10日 25名出席

(7) 他学協会等との連携

1) 破壊力学の基礎と最新応用（日本材料学会関西支部主催、当支部協賛）

開 催 日：2019 年 5 月 21（火）

場　　所：島津製作所三条工場研修センター

2) セメント・コンクリート研究の最前線（コンクリート研究会主催、当支部後援）

開 催 日：2019 年 6 月 21 日（金）

場　　所：大阪産業大学梅田サテライト

3) 大阪城コンクリートカヌー競技大会（近畿高等学校土木教育研究会主催、当支部協賛）

開 催 日：2019 年 8 月 24 日（土）、25 日（日）

場　　所：大阪城公園東外濠

備　　考：当支部パネル展示

4) 2019年度特別フォーラム～Society5.0がめざす新しい社会～（日本機械学会関西支部主催、当支部協賛）

開 催 日：2019 年 9 月 20 日（金）

場　　所：大阪科学技術センター

5) セメント・コンクリート関西発表会 2019（コンクリート研究会主催、当支部協賛）

開 催 日：2019 年 10 月 23 日（水）

場　　所：大阪科学技術センター

6) 見学会（コンクリート研究会主催、当支部後援）

開 催 日：2019 年 11 月 5 日（火）

場　　所：神戸市奥平野浄水場、阪神高速道路震災資料保管庫

7) 高炉スラグ細骨材を用いたプレキャストコンクリート製品の設計･製造･施工指針(案)講習会（日本材料学会主催、当支部後援）

開 催 日：2019 年 11 月 15 日（金）

場　　所：大阪産業大学梅田サテライトキャンパス

8) 第 33 回コンクリート構造物の設計・施工・維持管理の基本に関する研修会（土木学会関西支部主催、当支部後援）

開 催 日：2019 年 12 月 5 日（木）、6 日（金）

場　　所：大阪科学技術センター

9) 第 309 回コンクリートセミナー～いま求められるコンクリート像～（セメント協会主催、当支部後援）

開 催 日：2020 年 2 月 6 日（木）

場　　所：大阪国際交流センター

10) 第 16 回圧送技術研究会～高流動コンクリートの圧送性評価～（日本建築学会近畿支部・近畿生コンクリート圧送協同組合共催、当支部後援）

開 催 日：2020 年 2 月 17 日（月）

場　　所：大阪工業大学梅田キャンパス

(8) 収支決算

1) 貸借対照表

2020 年 3 月 31 日現在

（単位：円）

借　　方		貸　　方	
科　　目	金　額	科　　目	金　額
資　　産		負　　債	
Ⅰ 流 動 資 産		Ⅰ 流 動 負 債	
1. 現　　金		1. 預　か　り　金	
2. 普　通　預　金	7,058,389	2. 未　　払　　金	
3. 当　座　預　金			
4. 定　期　預　金			
5. 未　　収　　金		資　　本	
6. 本 部 預 け 金	1,000,000	Ⅰ 出　資　金	
		Ⅱ 剰　余　金	
		1. 前 期 繰 越 損 益	1,965,055
		2. 当　期　損　益	6,093,334
計	8,058,389	計	8,058,389

三菱 UFJ 銀行新大阪駅前店

2) 2019 年度 一般正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
1.　収入の部			
（1）　事業収益			
1）　講演会等収益（見学会含む）	18,000	884,000	-866,000
事業収入計	18,000	884,000	-866,000
（2）　その他収益			
2）　受取利息	82	19	63
3）　懇親会参加費収益	612,000	144,000	468,000
5）　年次大会還元金	8,670,000	0	8,670,000
6）　本部よりの交付金	1,952,200	1,887,040	65,160
その他収益計	11,234,282	2,031,059	9,203,223
合　　計(A)	11,252,282	2,915,059	8,337,223
2.　支出の部			
（1）　事業費			
1）　調査研究事業費	953,193	409,395	543,798
2）　広報事業費	2,257,146	349,128	1,908,018
3）　講演会等事業費（見学会含む）	212,365	1,007,226	-794,861
4）　表彰事業費	0	65,640	-65,640
5）　その他費用	0	0	0
事業費計(a)	3,422,704	1,831,389	1,591,315
（2）　管理費			
1）　総会費	558,067	531,432	26,635
2）　執行委員会費	276,544	150,290	126,254
3）　事務委託費	654,000	777,600	-123,600
4）　旅費交通費	0	3,000	-3,000
5）　通信費	79,908	99,244	-19,336
6）　消耗品費	17,701	23,973	-6,272
7）　借室料	130,800	129,600	1,200
8）　手数料	19,224	10,368	8,856
9）　その他雑費	0	0	0
管理費合計(b)	1,736,244	1,725,507	10,737
経常費用合計(B=a+b)	5,158,948	3,556,896	1,602,052
当期正味財産増減額(C=A-B)	6,093,334	-641,837	6,735,171
正味財産期首残高(D)	1,965,055	2,606,892	-641,837
正味財産期末残高(C+D)	8,058,389	1,965,055	6,093,334

3) 監査報告書

令和2年4月14日

公益社団法人日本コンクリート工学会
会長　芳村　学　殿

内部監査報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度における会計および業務の監査を行い、適切に執行されていることを認めます。

以上

公益社団法人日本コンクリート工学会 近畿支部
検査役　河野広隆

2. 2020 年度 事業計画および収支予算について

事　業　計　画

（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）

2020 年度もさらなる支部活性化に向けて各委員会（総務、広報行事、調査研究）が連携をとりながら、継続的な活動を積極的に推進するとともに、会員や市民への情報発信に努め、様々な機会を利用して委員相互の交流を深める取り組みを行うこととする。

ただし、新型コロナウイルス感染症の感染および拡大防止の観点から下記の事業を中止もしくは延期する場合がある。

(1) 執行委員会

年 3 回（7 月、12 月、2 月）実施予定

なお、5 月 29 日に予定していた執行委員会は新型コロナウイルス感染症を踏まえて中止とし必要な審議はメールにて実施

(2) 顧問・幹部合同会議

11 月実施予定

(3) 支部総会

5 月 29 日に予定していた支部総会は新型コロナウイルス感染症を踏まえて中止とし、支部総会資料は支部ホームページにて公開

(4) 支部奨励賞表彰式

5 月 29 日に予定していた支部奨励賞表彰式は新型コロナウイルス感染症を踏まえて中止とし、賞状および副賞は郵送にて受賞者に送付

(5) 講演会およびセミナー

1) 特別講演会

5 月 29 日に予定していた特別講演会は新型コロナウイルス感染症を踏まえて中止

2) 親子対象体験教室「第 2 回コンクリートっておもしろい」（支部設立 25 周年記念事業）

開 催 日：2020 年 9 月（予定）

場　　所：大阪市立科学館

内　　容：検討中

(6) 見学会

1) 会員対象現場見学会

開 催 日：2020 年 7 月（予定）

場　　所：未定

2) 市民（親子）対象現場見学会

開 催 日：2020 年 11 月（予定）

場　　所：未定

(7) 研究専門委員会等

1) コンクリート試験の省力化に関する検討委員会（2018年度公募）

委 員 長：武田字浦（明石工業高等専門学校）

活動期間：2019、2020年度の2年間（予定）

委 員 数：22名

2) 高流動性コンクリートの実用化促進に関する研究委員会（2018年度公募）

委 員 長：中川隆夫（大阪兵庫生コンクリート工業組合）

活動期間：2019、2020年度の2年間（予定）

委 員 数：27名

3) 百石斎（田邉朔郎書斎）調査WG（支部設立30周年記念行事）

WG主査：岸本一蔵（近畿大学）

活動期間：2020年度（1年間）（予定）

委 員 数：15名程度

活動計画：百石斎は田邉朔郎の書斎として1917（大正6）年頃に建設され、現存する個人所有の鉄筋コンクリート造建物としては日本最古のものとも言われている。百石斎調査WGでは、この貴重な近代建築物を健全な形で後世に継承していくことを目的に、必要な調査項目、調査方法、予算等の検討を行う。さらに、調査WGの結果を受けて2021年～2023年に専門委員会を設置して具体的な調査を実施し、報告書を取りまとめ、2024年に支部設立30周年記念事業として報告会を開催し、百万斎の歴史的技術的価値等について会員や社会に還元することとしている。

(8) 表彰事業

公募により支部奨励賞を 3 件程度選考のうえ、表彰事業を実施する。

⑼ 収支予算

2020年4月1日から2021年3月31日

（単位：円）

	科　　目	当年度	前年度	増減
1.	収入の部			
（1）	事業収益			
1）	講演会等収益（見学会含む）	0	500,000	-500,000
	事業収入計	0	500,000	-500,000
（2）	その他収益			
2）	受取利息	0	19	-19
3）	懇親会参加費収益	200,000	160,000	40,000
5）	年次大会還元金	0	8,670,000	
6）	本部よりの交付金	1,900,000	1,800,000	100,000
	その他収益計	2,100,000	10,630,019	139,981
	合　　計(A)	2,100,000	11,130,019	-360,019
2.	支出の部			
（1）	事業費			
1）	調査研究事業費	850,000	1,000,000	-150,000
2）	広報事業費	1,110,000	2,160,000	-1,050,000
3）	講演会等事業費（見学会含む）	200,000	700,000	-500,000
4）	表彰事業費	60,000	60,000	0
5）	その他費用	0	0	0
	事業費計(a)	2,220,000	3,920,000	-1,700,000
（2）	管理費			
1）	総会費	500,000	450,000	50,000
2）	執行委員会費	250,000	200,000	50,000
3）	事務委託費	660,000	648,000	12,000
4）	旅費交通費	15,000	15,000	0
5）	通信費	80,000	80,000	0
6）	消耗品費	20,000	20,000	0
9）	借室料	132,000	130,000	2,000
10）	手数料	15,000	15,000	0
11）	その他雑費	0	0	0
	管理費合計(b)	1,672,000	1,558,000	114,000
	経常費用合計(B=a+b)	3,892,000	5,478,000	-1,586,000
	当期正味財産増減額(C=A-B)	-1,792,000	5,652,019	-7,444,019
	正味財産期首残高(D)	8,058,389	1,965,055	6,093,334
	正味財産期末残高(C+D)	6,266,389	7,617,074	-1,350,685

3. 支部執行部の体制について

支部執行部 51 名のうち改選の対象者は 25 名（支部幹事 7 名、支部執行委員 18 名）であり、支部執行部候補者推薦委員会で候補者を選定し、支部長に答申を行ったうえで支部執行委員会に諮り、再任 22 名、交代 2 名、新任 1 名を選任した。

なお、退任が 1 名あったことから新任 1 名を選任したものである。

次ページに 2020 年度支部執行部の体制を示す。

<2020 年度 支部執行部体制＞

役職		氏名	所属	改選後の任期		改選内容			備考
				2021.5	2022.5	再任	交代	新任	
支部執行部	支部長	永山 勝	(一財)日本建築総合試験所	○					
	副支部長	岸本 一蔵	近畿大学	○					
	支部幹事	岩清水 隆	㈱竹中工務店	○					
		大谷 恭弘	神戸大学大学院		○	○			
		鎌田 敏郎	大阪大学大学院	○					
		辻村 隆	㈱バウエンジニアリング		○	○			
		鶴田 浩章	関西大学	○					
		中村 士郎	住友大阪セメント㈱	○					執行委員から幹事へ
		服部 篤史	京都大学大学院		○	○			
		松本 茂	阪神高速技術㈱		○	○			
		村田 一郎	西日本旅客鉄道㈱		○	○			
	支部執行委員	市岡 有香子	(一財)日本建築総合試験所		○	○			
		伊藤 尚子	大和ハウス工業㈱	○					
		今村 りえ	中央復建コンサルタンツ㈱		○	○			
		上田 清	和歌山県生コンクリート工業組合	○					
		大前 博	大成建設㈱	○					
		川崎 佑磨	立命館大学	○					
		川瀬 哲生	太平洋セメント㈱	○					
		木村 方哉	㈱大林組		○		○		
		栗延 正成	大阪広域生コンクリート協同組合	○					
		佐伯 奈都美	ジェイアール西日本コンサルタンツ㈱		○	○			
		坂田 博史	㈱建研		○	○			
		真田 靖士	大阪大学大学院		○	○			
		下部 裕司	㈱奥村組		○	○			
		城井 優季	㈱ダイイチ	○					
		高田 良章	㈱フローリック	○					
		高森 太郎	清水建設㈱		○	○			
		武田 宇浦	明石工業高等専門学校		○	○			
		田邉 太一	大手前大学	○					
		谷 昌典	京都大学大学院	○					
		友成 弘樹	㈱IHIインフラ建設		○	○			
		仲谷 恵美	和泉生コンクリート㈱		○			○	
		長岡 誠一	㈱中研コンサルタント		○	○			
		西崎 丈能	大阪ガス㈱		○	○			
		橋野 哲郎	㈱ピーエス三菱	○					
		橋本 崇志	東洋建設㈱	○					
		平岡 信幸	宇部三菱セメント㈱	○					
		福島 和将	ポゾリスソリューションズ㈱	○					
		福本 育央	鹿島建設㈱		○	○			
		藤原 規雄	㈱国際建設技術研究所	○					
		麓 隆行	近畿大学	○					
		前田 朗	大阪兵庫生コンクリート工業組合	○					
		三方 康弘	大阪工業大学		○	○			
		三木 朋広	神戸大学大学院		○	○			
		水野 克彦	三井住友建設㈱		○	○			
		山崎 順二	㈱淺沼組		○	○			
		山田 藍	㈱竹中工務店	○					
		山田 宏	大阪産業大学		○		○		
		山本 貴士	京都大学大学院		○	○			
		横山 和昭	西日本高速道路㈱	○					
		吉田 育央	㈱シーエスインスペクター	○					
	合計			26	25	22	2	1	

【参考:支部付き】

支部付き	顧問	田中 仁史		○					
		西山 峰広	京都大学大学院	○					
		松田 好史	西日本旅客鉄道㈱	○					
		宮川 豊章	京都大学	○					
		森川 英典	神戸大学大学院	○					
	支部出納管理者	伊藤 勝人	(一社)プレストレストコンクリート建設業協会						

【参考:本部付き】

本部	支部担当理事	熊野 知司	摂南大学	○					
	検査役	河野 広隆	京都大学経営管理大学院	○					

4.業務委託契約更新について

2020 年 4 月 14 日に行われた内部監査において一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部（以下、PC 建協関西支部）との業務委託契約書の更新が未了であるとの指摘を受けたことを踏まえ、業務委託契約書の更新に関して双方で以下の内容を確認したうえで更新手続きを行った。

・ 業務委託契約書の更新が未了の期間の乙の業務について

前回の業務委託契約書の有効期間は 2019 年 5 月 31 日までであり、それ以降の期間においては業務委託契約書の更新が未了であった。ただし、2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの期間における PC 建協関西支部の業務は適確に実施されていることは、内部監査において確認されている。

・ 業務委託契約書の更新の考え方

上記の状況より新たに更新する業務委託契約書は、遡って 2019 年 6 月 1 日から 2021 年 5 月 31 日までの 2 ヶ年の有効期間として更新する。

業務委託契約書

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部（以下、「甲」という。）と一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部（以下、「乙」という。）とは、次の通り業務委託契約を締結する。

第１条（委託業務の内容）

甲は、近畿支部の運営に関する以下の業務（以下、「本件業務」という。）を乙に委託し、乙はこれを受託する。

（１） 支部総会、執行委員会、幹事会、顧問会の開催に関する諸業務（会場の選定・設営、資料の印刷・発送、委嘱状の作成、交通費の支払い事務等を含む。）

（２） 研究委員会、講演会、講習会、見学会等の研究・技術に関連する行事の開催に関する諸業務（会場の選定・設営、資料の印刷・発送、交通費の支払い事務等を含む。）

（３） 支部月次会計報告、会計管理のための準備及び補助業務

（４） 決算報告書、収支予算書及び関連書類の作成のための準備及び補助業務

（５） その他、甲乙双方協議の上、合意した業務

２ 甲は、本件業務の遂行に際し必要があるときは、乙に対し、本件業務の進捗状況などについて報告を求めることができる。

第２条（善管注意義務）

乙は、本件業務を甲の指示に従い善良な管理者の注意をもって行うものとする。

第３条（業務の委託料等）

甲は乙に対し、第１条業務委託料及び事務所等使用料、事務所等使用に伴う水光熱費等の合計額として月額６０，０００円（消費税を別途加算する）を支払うものとする。

２ 業務委託料は、毎年４月１日から９月末日までの６ヶ月分を１０月末日までに、また１０月１日～３月末日までの６ヶ月分を４月末日までに、乙の指定する銀行口座に振込んで支払う。

なお、令和元年度に関しては、同年６月１日から９月末日までの４ヶ月分を１０月末日までに支払う。

ただし、コピー代金については、別途定めた金額を上記委託料等の支払のときに、上記金額に加算して支払う。

３ 乙が本件業務の遂行にあたり前項の委託料を超える特別の経費を要した場合、事前に甲の承諾を得たときに限り、甲は乙に対し、承諾した範囲の費用を支払うものとする。

第４条（業務の実施）

乙は、自らの責に帰さない事由又は正当な事由により、本契約上の業務の遂行を合意された期間中に完了できないことが判明した場合、直ちに甲にその事由を付して通知し、甲の指示に従わなければならない。また、乙は、正当な事由なく甲の承認を受けずに本契約上の業務を中止することはできない。

第５条（秘密保持）

甲及び乙が本件業務を実施するに当たり知り得た相手方の業務に関する秘密事項は、この契約の有効期限内はもちろん、契約期間終了後も第三者に漏らしてはならない。甲又は乙がこれに違反したことにより相手方が損害を被った場合には、相手方に対し全損害を賠償しなければならない。

第６条（著作権の帰属）
本件業務に係わる著作権は、甲に帰属するものとする。ただし、乙が従前から有していた既存の著作権を利用しているものについては、乙に帰属するものとし、乙は甲に対し無償で利用を許諾するものとする。

第７条（第三者の権利侵害）
乙は、本件業務の遂行過程において甲に提供する業務関連資料が第三者の著作権、肖像権、特許権、及びその他一切の権利を侵害していないことを保証する。

第８条（契約解除）
甲又は乙は、相手方が次の各号の一つに該当したときは、何らの通知催告を要せず、直ちに本契約を解除することができるものとする。
なお、この解除は損害賠償の請求を妨げない。
（１） 本契約に違反したとき
（２） 手形、小切手を不渡りにする等支払停止の状態に陥ったとき
（３） 仮差押え、差押え、仮処分、競売等の申立てを受けたとき
（４） 破産、民事再生、解散等の手続の申立てを受けたとき又は自ら申立てをしたとき
（５） その他各号に類する不信用な事実があるとき

第９条（契約期間）
本契約の有効期間は、令和元年６月１日から令和３年５月３１日までとする。
ただし、期間満了前に両者で協議して合意した条件で本契約を更新することができるものとする。

第１０条（紛争解決）
本契約に規定なき事項又は契約上の疑義については、両当事者間で誠意をもって協議し、解決するものとする。

以上、本契約締結の証として本書２通を作成し、甲乙各１通を保有する。

令和２年４月３０日

甲　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号
一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部内

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部
近畿支部長　永 山　勝

乙　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号

一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部
関西支部長　森 島　修

確 認 書

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部（以下、「甲」という。）と一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部（以下、「乙」という。）とは、業務委託契約書締結に際し、相互信頼に基づき次の通り確認する。

第１条（業務の委託料等）

甲が実施する支部活動業務及び甲が委託する運営業務を、それぞれ円滑に遂行するために、甲は乙の了解を得た上で、乙の管理する会議室及び事務機器（机、椅子、コピー機、ＦＡＸ等）を使用できるものとする。これらの使用料は、業務委託契約書第３条に定める委託料等の合計額に含まれるものとする。

２ 業務委託契約書第３条に定めるコピー代金は、コピー用紙およびトナーの実費相当額とする。

ただし、甲がコピー用紙およびトナーを購入の上、持ち込んだ場合は、コピー代金は業務委託契約書第３条に定める委託料の合計額に含まれるものとする。

令和２年４月３０日

甲　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号
一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部内

公益社団法人日本コンクリート工学会近畿支部
近畿支部長　永 山　勝

乙　住所：大阪府大阪市淀川区西中島６丁目２－３
チサンマンション第７新大阪３０９号

一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会関西支部
関西支部長　森 島　修

5. 2019 年度表彰について

総務委員会において「近畿支部奨励賞」の応募スケジュール等を検討のうえ、コンクリート工学会誌に会告を掲載して募集を行い、2019 年 12 月 18 日（水）に締め切ったところ 3 件の応募があった。その後、調査研究委員会において表彰内規および表彰細則に則り審査を行い、応募資格および審査基準（独創性、萌芽性および将来性）に対する評価点について審議を行った。さらに、受賞候補の選考経過ならびに決定理由が支部執行委員会に報告され、3 件の応募者を受賞者とすることが決定した。

受賞者は以下の 3 名である（応募受付順）。

・ 島田 恒平（花王㈱）
「特殊界面活性剤を利用したコンクリート硬化体表面美観性向上検討」
コンクリート工学年次論文集、Vol.41、No.1、pp.1151-1156、2019

・ 橋本 勝文（京都大学大学院）
「弾性波トモグラフィによるひび割れ補修工法における樹脂注入状況の評価」
「非破壊手法を用いたコンクリート構造物の補修評価」に関するシンポジウム委員会報告書・論文集、pp.177-182、2018

・ 山田 諒（京都大学大学院）
「水平二方向載荷および軸力が鉄筋コンクリート造耐震壁の構造性能に及ぼす影響に関する有限要素解析を用いた検討」
コンクリート工学年次論文集、Vol.41、No.2、pp.439-444、2019

6. 会員数の推移について

年　度	個人会員			団体会員						備考
	正	学生	合計	第1種	第2種				合計	
					1級	2級	3級	4級		
2001 (H13)			996						41	近畿支部の記録
2002 (H14)			994						51	
2003 (H15)			992						36	
2004 (H16)										
2005 (H17)										
2006 (H18)										
2007 (H19)										
2008 (H20)										
2009 (H21)										
2010 (H22)			895						36	
2011 (H23)	789	22	811	5	0	0	4	27	36	本部照会
2012 (H24)	739	38	777	5	0	0	3	30	38	
2013 (H25)	710	35	745	5	0	0	3	32	40	
2014 (H26)	686	51	737	4	0	0	3	35	42	
2015 (H27)	676	47	723	4	0	0	3	36	43	
2016 (H28)	711	26	737	5	0	0	3	36	44	
2017 (H29)	723	38	761	5	0	0	3	36	44	
2018 (H30)	701	51	752	4	0	0	3	39	46	
2019 (R1)	724	22	746	4	0	0	3	38	45	

※ 2011（H23）年度から2019（R1）年度は、各年度末現在の会員数を示す。

7. 本部からの報告について

主に支部に関係する事項のみ抜粋して以下に記載する。

(1) 7 月定例理事会（2019 年 7 月 18 日（木））

・ 2018 年度決算において公益認定基準の適合状況（収支相償、公益目的事業費比率および遊休財産額保有制限）の 3 基準のいずれにも適合。

・ コンクリート診断士試験 受験申込者数は 5,356 名（対前年比 509 名減）。

・ コンクリート技士･主任技士研修会 受講申込者数は 13,227 名（対前年比 1,020 名増）。内訳は、技士 10,746 名（993 増）、主任技士 2,481 名（27 名増）。次年度より e ラーニングに切替えの予定。

(2) 8 月定例理事会（2019 年 8 月 28 日（水））

・ コンクリート診断士 663 名合格（合格率 15.6%）。

(3) 10 月定例理事会（2019 年 10 月 30 日（水））

・ コンクリート技士・主任技士研修会 受講者数 12,817 名（内技士 10,388 名）。

・ 激甚災害（台風 15 号、台風 19 号）で被災した会員に対する会費の免除制度について提案があり承認された。

(4) 12 月定例理事会（2019 年 12 月 26 日（木））

・ 2019 年 4 月～11 月までの会計中間報告があり、その中で年次大会 2019（札幌）の収支も報告された。

・ コンクリート技士・主任技士合格者数 技士 2,583 名（合格率 29.5%）、主任技士 418 名（合格率 13.2%）。

・ 近畿支部 25 周年記念イベントの開催報告を行った。

(5) 2 月定例理事会（2020 年 2 月 28 日（金））

・ 2020 年度・2021 年度の役員候補者について承認された。

・ 学会賞受賞候補者について承認された。

・ 年次大会 2019（札幌）の還元金企画について承認された。

・ 年次大会 2020（広島）の実行計画について承認された。

(6) 3 月定例理事会（2020 年 3 月 25 日（水））

・ 2020 年度事業計画

  ・ 本部予算は見掛け上 1,053.8 万円の赤字スタートであるが、年次大会還元金当該年度使用分に置き換えると 54 万円の黒字予算となる。

  ・ 支部予算も 560.7 万円の赤字予算となるが、支部繰越金からの充当を考えると実質

的に赤字にはならない。

・ 収支相償は、公益目的事業が全てマイナスで「適合」、公益目的事業比率は 54.02%で「適合」、遊休財産は 770 万円の増加が見込まれるが、概ね適性な資金量の範囲。

・ コンクリート技士・主任技士 e ラーニング化に対応する試験管理システムの機能改修の計画について承認された。